

愛知県環境影響評価審査会 会議録

- 1 日時 2025年（令和7年）8月29日（金）午後3時から午後4時10分まで
- 2 場所 愛知県庁本庁舎 6階 正庁
- 3 議事
一宮西港道路計画段階環境配慮書について
- 4 出席者
 - (1) 委員
中山会長、市野委員、佐野委員、塚田委員、渡邊委員
【オンライン出席】
阿部委員、伊藤委員、鵜飼委員、岡村委員、小野委員、神谷委員、北村委員、
檜崎委員、横田委員、義家委員

（以上15名）
 - (2) 事務局
環境局：
武田環境局長、平野技監
環境局環境政策部環境活動推進課：
西川課長、高橋担当課長、国立課長補佐、佐藤主査、渥美主査、林主査

（以上8名）
 - (3) 事業予定者等
5名
- 5 傍聴人
なし
- 6 会議内容
 - (1) 開会
 - ・ 会議録の署名について、中山会長が岡村委員と小野委員を指名した。
 - (2) 議事
一宮西港道路計画段階環境配慮書について
 - ・ 一宮西港道路計画段階環境配慮書について、別紙1のとおり諮問を受けた。
 - ・ 資料1について、事務局から説明があった。

<質疑応答>

【佐野委員】計画している道路と既存道路との交差は立体交差となるのか。また、インターチェンジの設置の予定などは決まっているか。

【事業予定者】計画している道路は高規格道路であり、今の段階では高架構造で検討している。既存の高規格道路との接続はジャンクション形式で行うとともに、主要な幹線道路と接続するインターチェンジをいくつか設置する計画である。

【塚田委員】木曾岬干拓地はチュウヒをはじめとする猛禽類の重要な生息地であり、愛知県側の田園地帯も狩場となっている。このことについて配慮書段階で検討は行ったか。

【事務局】事業予定者に確認したところ、詳細調査はしていないとのことであった。

【塚田委員】配慮書段階なので、詳細調査は必須ではないが、重要な動物の生息地であるという認識を持ってほしい。狩場がなくなると越冬できなくなる。複数案での影響の違いはほとんどないと思うが、なるべく影響のないような道路の設置と工事の仕方を考えてほしい。

もう一点昆虫について、ハチやアブの多様性自体が農業の生産高に影響を及ぼすことが分かってきているため、田園地帯を多く通過すると思うが、重要な種が確認されなかった場合でも、一般的な種の生息地をできるだけ壊さないように考えてほしい。

【事務局】一点目の猛禽類については、方法書段階で調査、予測、評価の方法が示される。方法書の作成に向けて、田園地帯での調査・予測・評価手法を検討するよう伝えたい。

二点目の重要種以外の一般種について、今後実施される調査により生息している種は網羅的に把握されることになる。把握した種を基に、田園地帯の生態系への影響を予測・評価し、環境保全措置を検討していくよう求めていきたい。

【塚田委員】方法書の内容を検討する際に、ただいま発言した内容を考慮して欲しい。

【渡邊委員】計画段階配慮事項の評価が「大きい、小さい」と定性的な記述になっているが、例えば、案の1では70%が損失し、案の2では50%が損失するなど定量的に示すことはできないか。点の数や面積を比較しているのに、評価が「大きい、小さい」という漠然とした整理なので議論することが難しい。この後、環境調査が行われた後にも、ある項目に着目すると何%などとして評価していくことはできないのか。

【事務局】計画段階環境配慮書では、主に重大な環境影響が回避・低減されているかを評価するとともに、複数案を比較して評価することとしている。比較評価するための文献調査は網羅的な調査結果ではないが、示せる内容を事業予定者と検討した上で、次回報告する。

【北村委員】塚田委員から、南側の部分が野鳥にとって重要な場所であるというコメントがあった。また、配慮書上ではシギ・チドリ類の生息地とのことである事業実施想定区域は水田地帯が多いが、水田を利用する鳥類の種と沿岸部を利用する種は異なる。事業実施想定区域周辺に生息している鳥類の種類をどの程度把握しているか。

【事務局】事業者を確認したところ、現地調査は行っていないとのことであるが、

文献調査の結果から示せる情報を次回報告する。

【北村委員】文献調査の結果で構わないので、リストなどがあれば何に配慮すべきかが見えてくるのではないかと思う。方法書以降でしっかり現地調査をしていただきたいと思う。

【事務局】ご指摘の観点により調査、予測、評価の手法を検討することについて、事業者に求めていきたい。

【小野委員】一般からの意見で、田園地域の景観に配慮してほしいというものがある。配慮書で調査されている景観資源が、一般からの意見を反映しているのかが分かりにくいいため、景観資源の内容を説明してほしい。

【事務局】31, 32 ページに景観資源のリストが掲載されている。また、これらの景観資源は表 3-11 の文献を参考としている。

【小野委員】田園風景や緑地のような景観と都市的な風景が混在しているので、地図上で示すときに分類を分けて示すと住民にとって分かりやすくなると思う。

もう一点、複数案の東名阪自動車道と重なる部分が丸くなっておりインターチェンジを示していると思うが、案の 1 と 3 は既存のインターチェンジに接続して、案の 2 は新たにインターチェンジができるという理解で良いか。

【事業予定者】既存の高速道路にジャンクション形式で接続する部分は、本線ルートよりも少し大きくなる可能性があるので、円で大きく示している。

【小野委員】ジャンクションが新規で設置される場合とそうでない場合との環境への影響の違いを教えていただきたい。

【事業予定者】ジャンクション部分は面的整備となるため、道路本線の整備と比べて環境への影響は大きくなると思う。また、補足させていただくと、起点と終点にはインターチェンジも設けることを検討している。

【小野委員】道路の作り方は土地利用に影響するので、今の段階では難しいと思うが、影響について丁寧にみていただきたい。

- ・ 一宮西港道路計画段階環境配慮書について、一宮西港道路部会（別紙 2）を設置し、その審議が付託された。

(3) 閉会

7 環 活 第 2 7 7 号
令 和 7 年 8 月 2 9 日

愛知県環境影響評価審査会
会長 中山 恵子 様

愛知県知事 大村 秀章

一宮西港道路計画段階環境配慮書について（諮問）

このことについて、愛知県環境影響評価条例（平成 10 年愛知県条例第 47 号）第 32 条の 2 において準用する同条例第 4 条の 7 第 4 項の規定に基づき、貴審査会の環境の保全の見地からの意見を求めます。

担当 環境局環境政策部環境活動推進課
環境影響・リスク対策グループ
電話 052-954-6212（ダイヤルイン）

愛知県環境影響評価審査会
一宮西港道路部会構成員

委員名	所属等
おかむら きよし 岡村 聖	名古屋産業大学現代ビジネス学部教授
おの はるか 小野 悠	豊橋技術科学大学建築・都市システム学系准教授
かみや こうじ 神谷 浩二	岐阜大学工学部教授
きたむら わたる 北村 亘	東京都市大学環境学部准教授
さの やすゆき 佐野 泰之	愛知工業大学工学部教授
すやま ちか 須山 知香	岐阜大学教育学部准教授
つかだ もりお 塚田 森生	三重大学大学院生物資源学研究科教授
ないとう ひさお 内藤 久雄	金城学院大学生活環境学部教授
ひろおか かやこ 廣岡 佳弥子	岐阜大学環境社会共生体研究センター准教授

(敬称略、五十音順)